

2011年8月1日(月)

受験生は眠る時間と生活に必要な時間以外は勉強を
—受験勉強の勉強時間は長ければ長いほどよい—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：今日から8月に入りました。中学3年生、高校3年生などの「受験生」は、一体夏休み中は一日に何時間ぐらい勉強すればよいのですか。

A：(林明夫：以下省略)

(1)これは素晴らしい質問です。(It is a very good question!!)やっと本気になってきましたね。受験生は一体一日に何時間勉強したらよいのかという御質問ですね。このような質問が出てくるのは、皆様が本気になった証拠です。素晴らしい質問と考えます。

(2)私の答えは、「眠る時間以外は勉強するとよい」です。ただし、睡眠時間は生きていく上で大切ですから、最低でも小学生は8時間以上、中学生は7時間以上、高校生は6時間以上必ずとって下さいね。

(3)また、食事やトイレ、入浴、家の掃除^{そうじ}など生活に必要な時間も2～4時間は必要です。

—受験生の1日の勉強時間—

1日24時間－(睡眠時間[6～8時間]+生活に必要な時間[2～4時間])＝勉強時間

(4)次に、この公式に自分で数字を入れて、自分は受験生として何時間勉強したらよいのかを考えてみましょうね。

24時間－(睡眠時間□時間+生活に必要な時間□時間)＝受験生としての勉強時間□時間

(5)大学入試を目指す高校生なら 24時間－(□6時間+□2時間)＝□16時間となり、16時間という勉強時間が考えられます。

(6)高校入試を目指す中学生なら 24時間－(□7時間+□3時間)＝□14時間となり、14時間という勉強時間が考えられます。

Q：そんなに長い時間どうやって勉強したらよいのですか。

A：(1)開倫塾では、先生方の勤務時間中は空いている教室を自習室として無料で開放しますので、夏期講習会やお盆特訓、8月分授業などの正式な授業時間以外の時間でも勉強してOKです。

(2)ただし、「おしゃべりやケータイなど勉強以外は一切禁止」です。開倫塾の先生方の指導の通り、できるだけ集中して勉強して下さいね。今日は、どの科目をどの教材でどのように勉強するのか、勉強の「手順」、「順序」をできるだけ具体的に考えて下さい。開倫塾の先生方の指導を受けながら、自習室での勉強の仕方を考え、どんどん実行して下さいね。

(3)今週は天候が不順のためあまり暑くならないようですので、午前中は朝食を食べたらグズグズしないで、8時ごろからサッと机に向かい始め、正午までの4時間はできるだけ家で集中的に勉強することをお勧めします。

(4)私が第1回から前回の第7回まで御説明した勉強の仕方をもう1～2回読み直して頂き、できるだけその通りにやってみて下さい。時間はかかりますが、今までの成績には一切関係なく、どのような方でも必ず成績が大幅に向上します。今日8月1日から1か月間、この通りに勉強し続ければ、成績は飛躍的に向上します。問題は、どのようにしたら長時間の勉強ができるかです。

(5)午前中は家で4時間机に向かい、午後から夜にかけては開倫塾の自習室を活用するのも、一つの方法です。がんばって下さいね。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)今、アメリカの国の債務(借金)の問題で世界経済が大きな危機的な状況にあります。アメリカの国の借金の問題が解決しないと、日本の経済にも栃木県や群馬県、茨城県の企業にも大きな影響が生じます。

(2)この世の中で何が起きているのかを知るために、是非、今日8月1日から8月31日までの1か月間、新聞をよく読むことを皆様をお願いします。

私も皆様に少しずつお伝えしたく思いますが、皆様もこれからどうしたらよいかを自分の頭で考え、自分のこととしてやるべきことをやって下さいね。

では、今日はこの辺で。

以上